

めまいと前庭動眼反射検査(※ VOR)

※ Vestibulo-OcularReflexの略

今回の機能検査の紹介はめまいの検査である「前庭動眼反射検査 (VOR)」です。

このVOR検査は、頭部に回転刺激を与え、反射によって生ずる不随意的な眼球運動を測定することで前庭三半規管の機能を定量的に評価し診断するものです。

意外に古くから知られている検査ですが、以前は大掛かりで高価な装置と煩雑な手間のために、日常的に臨床現場で実施することが困難な検査でした。

しかし現在このVORは日常的に行われているめまい診療の中、通常に眼球運動を観察するのと変わらないくらいの手間と時間で、簡単に行うことができます。

頭部に与えた刺激と眼球運動は、それぞれ同時にコンピュータに取り込まれ解析され、特に蓋の開閉のみで明所と暗所を切り替えられる赤外線フレンチェル眼鏡で、視刺激を与えた時の眼球運動を記録し、末梢性、中枢性めまいの識別診断に利用できます。

この検査により、より多くの患者さんに対して質の高い「めまい診療」を提供できるようになりました。

当院でもめまいの検査として、他に『重心動揺検査』『ABR検査(脳波聴力検査)』と共に実施し確定診断に役立てております。

めまいでお困りの方は主治医までお申し付け下さい。

